

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (真などの取得確認があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			服務規程に「人権の尊重・差別の禁止」について明記し社内共有している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメント禁止についてのポスター掲示を行っている。 ・就業規則にハラスメント禁止について記載している。 ・ハラスメント発生時の相談窓口を定めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			有休、残業時間についてグラフ作成を行い掲示し、全従業員が確認できる体制をとり、必要に応じて個別に指導を行っている。								8.5									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			服務規程に「人権の尊重・差別の禁止」について明記し社内共有している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人 権 ・ 労 働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・労働週間、交通安全週間等のポスターの掲示と朝礼での情報共有を行っている。 ・安全衛生推進者2名を設置している。 ・社内にて機械等の定期点検の実施を行っている。			3.9														
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本		【予定】	・2024年9月の健康診断時にストレスチェック(セルフチェック)を行う予定。 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程を整備している。(こちらは既に運用している。)			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・女性用更衣室、トイレの設置。 ・遠訪地域就業、生活支援センターとの連携 ・育児、介護時短勤務について短縮措置等を定め、整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			業務に必要な資格、講習等の受講費用を会社で負担している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	【非該当】		非正規雇用者無しのため。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・健康診断を1回/年実施し、検診結果への医師の意見聴取を行い各自に医師のコメントやリーフレットの配布を行っている。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・社内にて分別を行い指定業者に回収の依頼をしている。 ・不良や作業ミスによる材料の廃棄を減らすために対策を講じている。											11.6 12.4		14.1				
12 環 境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			長野県事業温暖化対策計画書を作成、提出し、そのなかで排出量の計算を行った。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・上記と同様。 ・工場内、事務所内の電気をLEDに付け替えた。							7.2 7.3					12.4 13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・1年に1度、化学物質の種類と使用量の確認を行っている。 ・有害性の高い化学物質を代替品へ切り替える検討、実施を行っている。			3.9			6.3					11.6 12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・工場建設時に外灯が周りの植物に影響が出ないようにライトの設置位置を考慮し建設を行った。同時に、ガスの排気口の設置位置も考慮し行った。						6.6								15			
6	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・段ボール等分別を行い業者に回収を依頼している。 ・製品を包装する際に新聞紙を包装紙として使用したり、再利用の緩衝材を使用したりしている。										12		14.1					
7	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			節水や水資源の大切さに関するポスターをトイレに掲示し、従業員への意識付けを行っている。						6.4 6.6											
8 環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ																				
9	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ																				
10	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ																				
11	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ																				
12	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則第36条の服務心得に記載あり。															16 16.5		
13	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			情報管理規程にてルールを定め、周知のためのミーティングを行った。																16	
14	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			情報管理規程にてルールを定め、周知のためのミーティングを行った。							8.2 8.3	9									
公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・入社時に資料を配布し説明を行っている。 ・全従業員が秘密保持誓約書へサインし提出している。 ・就業規則で保護に関するルールを定めている。															16		
16	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		対象となる鉱物を使用して生産する商品が無いため。																16	
17	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ																				
18	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3					8	9	10						17	

						主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																			
チェック項目						取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得履歴があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																									
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	【非該当】		最終製品を製造していないため。（部品のみ）																				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・不具合発生時の対応が整備され、品質を保証するための仕組みが構築されている。 ・クレームがあった場合、各部署と再発防止の検討を行っている。									9											
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		企画、設計等は自社で行っていないため。																				
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			ダイバーシティ経営の推進により、様々な環境の方が活躍できるように配慮し、地方創生、社会課題への取り組みを推進している。				4	5			8		10	11					16	17			
社会貢献・	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			商工会議所の活動を通じて、地域社会とのつながりを設けている。											11						17			
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・工場がある地元地区の行事に協賛金を寄付している。 ・地元小学校、高校の工場見学の受け入れを行っている。 ・高校生のインターンシップの受け入れを行っている。				4																
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	【非該当】		企画、設計等は自社で行っていないため。																				
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営理念及び経営目標の社内提示を行っている。 ・年度スローガンを食堂をはじめ各工場に掲示している。								8												
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本		【予定】	仕組み作りに向け検討段階。																16				
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			リスクマネジメント等の担当は社長が兼務している。																16				
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー ^{（※）} との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している ^{（※）} （※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・取引先の工場見学を行う。 ・地域住民の工場見学会の受け入れ。 ・商工会議所の活動へ参加する。																17				
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																							
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																							
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ																							
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			現在は検討を行っていない。																				

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。） ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）	○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成 ○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載 ○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定
---	--